

## ■ 1 将来駐輪需要予測のフロー

定期契約者情報を基に駅別の将来人口推計や自転車保有の増加を考慮した駅別将来需要を算出するためのフローを以下に示します。

### A. 駅別過不足台数

#### ①各駅の現在の需要台数の設定

定期契約者情報がある駅

定期契約者情報がない駅

#### ②定期契約者情報による利用者属性の確認 (市内外の利用割合など)

定期契約者情報より市内外の割合を算出。

#### ③将来人口推計による補正

市の人口のピークと推計されている平成 37 年の行政区別将来人口推計値を考慮し補正。(市外は変わらないものとする)

#### ④自転車利用者の増加見込みによる補正

全国的に自転車の保有台数が増加傾向にあることから、平成 37 年度までの推計値 8.4% 増を見込んで補正。

#### ⑤将来発生需要

各駅の放置自転車台数も発生需要に加え、現在の駐輪場収容台数と比較。

#### ⑥駅全体で見た過不足台数

### B. 各駅の方角別過不足台数

定期契約者情報がある駅

定期契約者情報がない駅

#### ⑦方向別利用割合の設定 (定期契約者情報)

駅から 3 km 圏内の定期契約者より方向別利用割合を算出

#### 方向別利用割合の設定 (駐輪場の利用状況)

駐輪場の利用状況より方向別利用割合を算出

#### ⑧方向別の過不足台数、距離別駐輪場整備状況

将来発生需要を方向別利用割合で割り出し、各方向の駐輪場整備状況と比較

### 【大宮駅の例】

実収容台数 (H28) 11,607

定期契約者情報 市内：8,575 / 市外：741 (約 92% / 約 8%)

市内：10,684 / 市外：923 (現在人口に占める自転車発生需要の割合)

× (平成 37 年の将来人口推計)  
※大宮駅の場合 大宮区 4.6% 増、北区 0.0% 増、中央区 2.0% 減 等を定期契約者情報に反映し増減

市内：11,016 / 市外：923

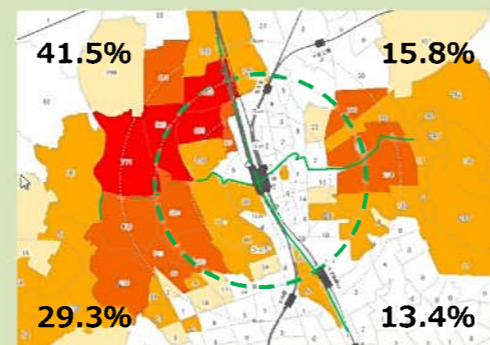
自転車保有の増加 8.4% 拡大  
市内：11,898 / 市外：997

大宮駅将来発生需要 12,895  
大宮駅放置自転車台数 (平日 11 時) 162 台

合計 B = 13,057

(収容台数 15,360) - (将来発生需要) = 2,303

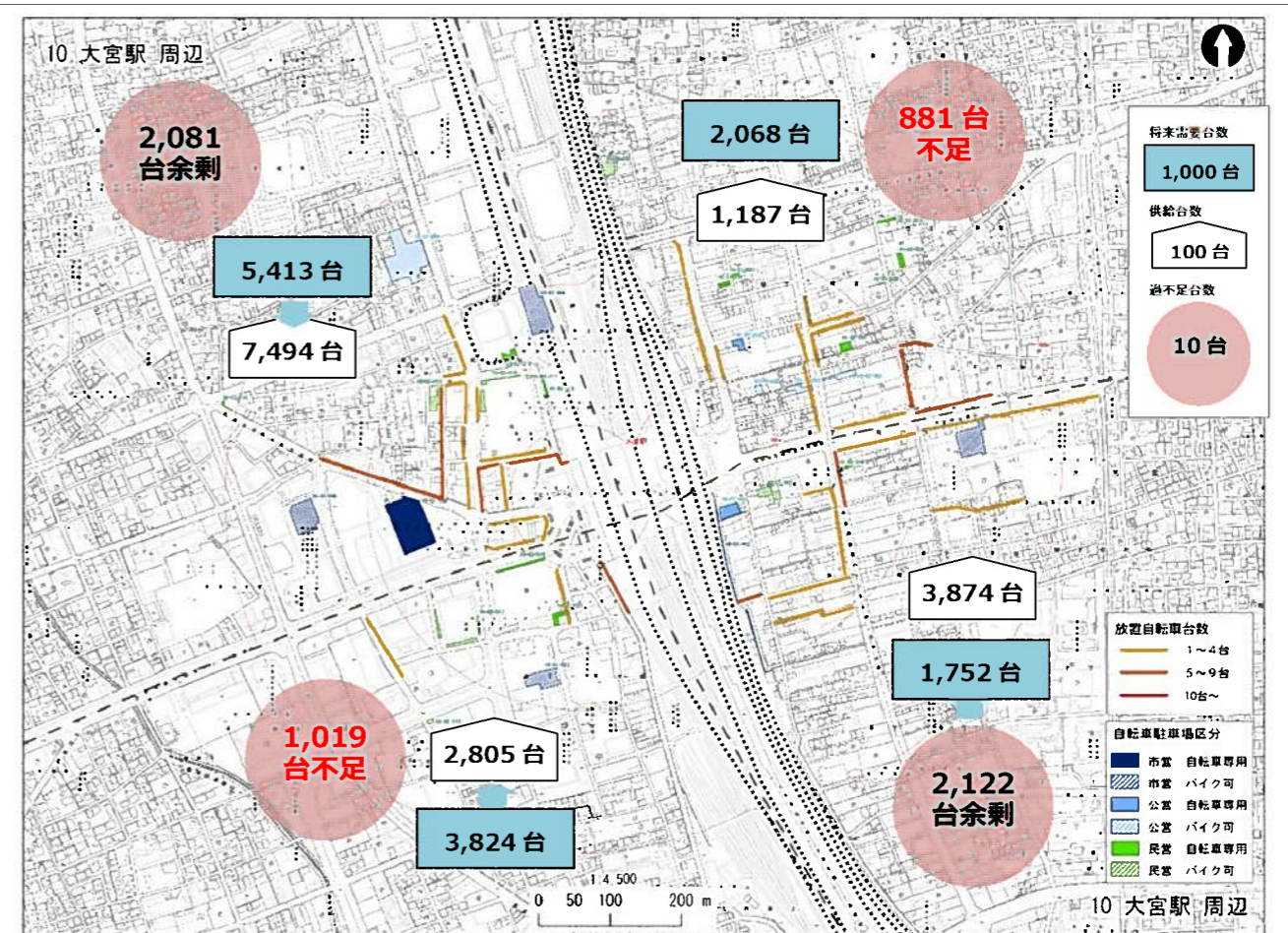
【大宮駅の市営・公営定期駐輪場利用者発生分布】



2,081 台余剰	881 台不足
南西	南東
北西	北東
1,019 台不足	2,122 台余剰

## ■ 2 駅別将来発生需要に応じた整備方針 (例：大宮駅)

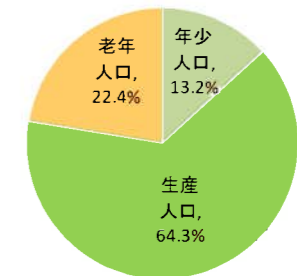
発生需要及び整備状況より、方向別の需要に応じた課題を把握し、整備方針を策定します。



### 【距離別 駐輪場整備状況】 (台)

	100m以内	100-300m以内	300m以上
北東	71	732	384
南東	549	595	2,730
南西	430	2,375	0
北西	0	6,367	1,127

### 【駅勢力圏人口比】



### ■ 整備方針の方向性

- 全体では 2,303 台の余剰となっており、駅西側エリアと駅東側エリアの両エリアで総体としての需要と供給量はバランスが取れているが、北と南での需要と供給のバランスが悪くなっている。
- 駅勢力圏は若い世代も多く、今後も現状規模の需要が継続的に発生すると考えられるため、十分な供給量を適切に維持管理、有効活用すべく、**駅西側エリアと駅東側エリアでバランスが取れるよう駐輪場の利用の平準化**を進めていくことが必要である。
- 東側エリアでは、大宮駅東口大門町駐輪場は、駅から 300m を超える場所にあり、利便性に欠けるほか、建物の老朽化も進んでおり、**大宮駅東口の公共施設再編の中で、改修の可能性の検討**を図る。
- また、放置自転車も多く見られ、駐輪場への誘導を図るとともに、放置自転車の発生特性を踏まえて一時駐輪への対応を図る。